



2019年7月9日

日本鉄道労働組合連合会

J R 四 国 労 組 第 3 8 回 定 期 大 会 開 催

大谷委員長体制を確立、新たな時代を築いていく！

J R 四 国 労 組 は、7 月 8 ～ 9 日、「J R ホ テ ル ク レ メ ン ト 徳 島」（徳 島 県 徳 島 市）に お い て、ス ロ ー ガ ン に「新 た な 時 代 に 新 た な 風 を！」を 掲 げ、第 38 回 定 期 大 会 を 開 催 し た。大 会 に は 代 議 員、特 別 代 議 員、お よ び 傍 聴 者 等 の 総 勢 約 140 人 が 出 席 し、2019 年 度 の 運 動 方 針 を 満 場 一 致 で 決 定 し た。

冒 頭、執 行 部 を 代 表 し て 中 濱 執 行 委 員 長 が 挨拶 に 立ち、「こ の 間 の 運 動 の 成 果 は イ デ オ ロ ギ ー を 持 ち 込 ま な か っ た こ と と 時 代 に 合 わ せ て 変 化 し て き た こ と に あ る。今 後 も 日 々 進 化 し 続 け、実 践 し て き た 民 主 的 労 働 運 動 を 次 の 世 代 に 継 承 す る た め、組 織 と し て『人 を 創 り、人 を 育 て る』と と も に 歴 史 を 伝 え て い く」と 語 っ た。

大 会 に は、J R 連 合 か ら 尾 形 事 務 局 長 と 中 村 交 通 政 策 部 長 が 出 席 し、激 励 と 連 帯 の 挨拶 を 行 っ た。ま た、来 賓 に は 連 合 徳 島 ・ 島 事 務 局 長、四 国 交 運 労 協 ・ 井 上 議 長、J R 四 国 ・ 半 井 社 長、ジ ェ イ ア ー ル 四 国 バ ス ・ 吉 良 社 長 ら が 出 席 し た。

そ の 後 執 行 部 か ら 新 年 度 の 運 動 方 針（案）お よ び 予 算（案）が 提 起 さ れ、33 人 の 代 議 員 ・ 特 別 代 議 員 が 方 針 等 を 補 強 す る 発 言 を 行 っ た。業 務 課 題 や 労 働 条 件 ・ 環 境 に 対 す る 内 容 に 加 え、J R 四 国 の 将 来 を 見 据 え た 鉄 道 ネ ッ ト ワ ー ク の 維 持 活 性 化 に む け た 新 た な 支 援 策 や 四 国 新 幹 線 の 実 現 を 期 待 す る 声 が 挙 が っ た。執 行 部 か ら の 中 間 答 弁 お よ び 大 谷 書 記 長 の 総 括 答 弁 を 経 て、方 針 等 が 満 場 一 致 で 採 択 さ れ た。さ ら に、今 大 会 に お い て 役 員 改 選 が 行 わ れ、長 年 に 亘 り J R 四 国 労 組 を 牽 引 し て き た 中 濱 委 員 長 が 退 任 し、新 た に 大 谷 委 員 長、森 安 副 委 員 長、嶋 田 書 記 長 を 選 出 し、新 体 制 が 確 立 し た。

最 後 に、J R 四 国 労 組 の 一 層 の 団 結 に よ り 新 た な 時 代 を 築 く べ く、大 谷 新 委 員 長 の ‘団 結 ガ ン バ ロ ー’ 三 唱 で 締 め く くり、新 年 度 の ス タ ー ト を 切 っ た。

